

令和 7 年度 たつの市まち未来創生戦略推進委員会

日 時：令和 7 年 8 月 2 9 日（金）

午前 1 0 時～午前 1 1 時半

場 所：たつの市役所本庁多目的ホール

出席者：委員 1 8 名、事務局

1 開 会

2 委員長及び副委員長の選出について

内田委員を委員長に、徳永委員を副委員長に選出

3 協議・報告事項

（１）たつの市の現状について

（２）「たつの市まち未来創生戦略」の基本目標・施策の検証及び評価について

（３）まち未来創生戦略の主な取組について

（４）国の認定を受け進める本市の創生戦略事業について

（５）第 3 期たつの市まち未来創生戦略の策定について

4 意見交換

5 閉会

－委員長挨拶－

皆さまおはようございます。兵庫県立大学の内田でございます。昨年度まで本学の草薙がお世話になっておりました。引き続き、よろしくお願いいたします。

私は、大学の本部がございます神戸市西区に 3 年前から住んでおりますが、それまでは姫路市の環境人間学部に 3 0 年程赴任しておりました。たつの市には新舞子浜や志んぐ荘等に訪れたことがあり、懐かしく感じております。学生の中にも出身者がおり、様々な話をしたことがございます。

大学では老年学である高齢者の健康長寿に関する研究を続けております。

この度は、委員会の進行等少しでもお役に立てればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

－会議要旨－

事務局より、取組状況等の説明を行い、主な意見等の要旨は次のとおり	
協議・報告事項 (1) たつの市の現状について (2) 「たつの市まち未来創生戦略」の基本目標・施策の検証及び評価について	
委員長	資料１と２をご覧いただきまして、質問等ございませんでしょうか。
委員	人口関連で１点ご確認させていただきます。資料８ページ、人口還流の転入転出の差については、目標を達成しておりますが、資料１ページの住民基本台帳人口と人口ビジョンのＲ７年度の比較では、人口ビジョンの目標が未達成となっております。社会増減の目標は達成しておりますが、それを上回るスピードで自然減が進んでいるという認識でよろしかったでしょうか。
事務局	お見込みのとおりでございます。
委員	ご回答ありがとうございます。 では、それらを踏まえまして、転入転出の差の指標については、自然減が進んでいるなかで、人口ビジョンの目標を達成するために、目標値を上方修正すべきではないでしょうか。転入転出の差は目標値を達成した（Ａ判定）としても、人口ビジョンの目標が達成できないのは、この創生戦略としてはいかがなものかと思います。
事務局	ご指摘ありがとうございます。現戦略の計画期間が令和８年度末で終了することから、今年度後半から次年度にかけ、次期戦略の改定に向け検討を進めてまいります。その中で、本指標についても、見直し等図ってまいりたいと考えております。
委員長	その他質問等はございませんでしょうか。
委員	資料５ページの地区別住民基本台帳人口について、小宅地区においては人口が増加傾向の反面、その他の地区では減少傾向となっております。人口が小宅地区に集中することで、学校ごとの児童生徒数の差も今後は問題になるのではないかと考えています。小宅地区のみが人口が増えることについて、何か考えや今後の対策等ございましたらお願いします。
事務局	委員ご指摘のとおり、小宅小学校については、マンモス校であり令和４年に新たに校舎を増築したところです。また、本竜野駅前周辺の中村地区では住宅地が増え空き地等少なくなっているところです。 一方で、他地域は人口減少が進んでおり、市街化調整区域といった土地利用における課題や新宮地域では過疎地域指定もされたところです。小宅地区の周辺地域も含めた住宅地の開発や過疎地域に転入者を迎え入れる施策を進めてまいりたいと考えております。
委員長	その他、質問等はございませんでしょうか。
委員	給食費の無償化、高校生までの医療費無料化など子育て世帯への経済的支援に関する施策は取り組まれていますが、以前から申しているとおり、大型遊具が整備された大きな公園が無いのが課題だと感じております。龍野ＩＣ周辺まちづくり区画整理事業を進めるなかで、近隣市町のような商業施設とセットで子育て世帯が集えるような大きな公園を整備することも検討してみてはいかがでしょうか。

事務局	子育て施策については、「住みたい まち たつの」の実現に向け、近隣市町と比較しても充実した事業内容を展開しているところです。また、龍野 I C 周辺まちづくり区画整理事業では、土地区画整理組合が設立され、令和 1 2 年度を目途に商業と工業を合わせた新たなにぎわいの形成を目指し、様々な議論が進んでいることと推察しております。委員ご質問の件につきましては、当課では把握できておりませんので、意見があった旨を担当課に伝えさせていただきます。
委員長	ありがとうございました。 その他質問等はございませんでしょうか。それでは、次の議題について事務局から説明をお願いします。
事務局より、取組状況等の説明を行い、主な意見等の要旨は次のとおり	
協議・報告事項 (3) まち未来創生戦略の主な取組について (4) 国の認定を受け進める本市の創生戦略事業について ➡ <u>ホームページリニューアル事業について、広報秘書課担当者から実際のホームページ画面にて変更点等を説明</u>	
委員	人口減少をどう克服していくかという観点から、事前にホームページを拝見させていただきました。当然ながら、自治体のホームページは、第一義に市内の住民に向けた情報発信の立て付けになっている場合が多いと感じています。一方で、市外の方がこの町に住みたいと思い、ホームページを見て情報を得られるかという点と極めて不便な場合も多くございます。 そのような視点でホームページを拝見しましたが、市外の方に向けては、子育て特設サイトや移住特設サイトに市の取り組みや施策がしっかりと紹介されています。また、市内の方に向けては、ライフシーン別メニュー等により見やすく分かりやすいページの作成ができていたと思います。 残念な点としましては、まちのイメージ（小京都、そうめん、醤油等）を動画を活用しもっと積極的に発信すべきではないかと思います。移住者インタビューのページについても、テキスト形式で伝えるのではなく、ショート動画等で伝えることで、さらに市外の方へ魅力が発信できると思います。
委員	観光協会のホームページについても、2 年前にリニューアルし、動画を中心に市を P R するコンセプトのもと、観光大使がモデルとなり全市を観光大使が巡り紹介をしているところです。 フィールドパビリオンを活用し、大阪関西万博の観光客をどう誘客するか考える必要があり、醸造を中心とした観光誘客を模索しているところですので、是非期待していただければと思います。
委員長	貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえホームページも改善されることと思います。
委員	ホームページについては、リニューアル前と比べますと非常に見やすくなり、アクセスもスムーズにできるようになりました。一方で本戦略の指標であるホームページ訪問者数については、基準値にも達しておらず目標達成が厳しい状況だと思っています。 ホームページから情報を得るという方が減少している背景もございしますが、たつの市全体を通して一番課題に感じることは、他市にも負けない様々

	な良い施策を実施しているにも関わらず、それらのPRが不足していることだと思います。いくら良い施策に取り組んでいても、ホームページや広報誌等にたどり着き、知っていただければ意味が無いと思います。このホームページの訪問者数をどのように伸ばしていこうと考えていますか。
事務局	ホームページ訪問者数については、Google アナリティクスの数値を指標としておりますが、令和5年6月末に Google による集計方法が変更となったことから、大幅に減少したことが要因の一つとしてございます。 今後、ホームページの訪問者数を増やすには、まず、ホームページの良さでもある、即時に情報更新が可能で新たな情報を次々発信できるメリットを生かすことだと思います。一方で若い世代の方はホームページを閲覧しないという話もございますので、LINE 等の入口からプッシュ型通知を活用し、求めている情報を発信することで、ホームページに誘導することが重要であると考えております。 広報誌についても同様に、ホームページへのアクセスにつなげる媒体として情報発信していく必要があると考えております。また、Instagram・フェイスブック等 SNS についても、外部への情報発信ツールとして引き続き活用してまいります。
委員	市の情報を積極的に入手したい方は自ら LINE 登録もして下さると思いますが、そうでない方へのアプローチが難しいと思います。 広報誌も見やすく魅力的になっておりますので、それらを生かせるやり方を私自身も研究してみようと思います。最近の若い方であれば、チャットGPTをはじめとする生成AI等新しい技術も活用していますので、そのあたりも絡めて何かできないか研究したいと思います。 また、市内の様々な企業の方と話す中でご意見をいただくのは、やはり若者に就職先として選んでいただくことに一番困っていると耳にします。高校生の場合は龍野北高校が地域と連携しておりますが、大学生となるとやはり難しいと聞きます。加えて、子どもだけでなく、親世代にもたつの市には就職場所が無く、都会へ行かないと就職できないといった間違った認識が広がっていると感じています。地元にも良い企業はたくさんあるので、この矛盾を親世代も含めて変えていけるような施策を見いだしていければと思いますがいかがでしょうか。
事務局	ご意見を担当課にも伝えさせていただき、学生だけでなく、保護者も参加し、理解いただけるような就職説明会等も実施できないか検討させていただきます。
委員長	ありがとうございました。 その他質問等はございませんでしょうか。それでは、次の議題について事務局から説明をお願いします。
事務局より、取組状況等の説明を行い、主な意見等の要旨は次のとおり	
協議・報告事項 (5) 第3期たつの市まち未来創生戦略の策定について	
委員長	事務局から第3期の戦略策定に向け、目指すべき方向性やポイント等をご説明いただきました。委員の皆様、ご意見・質問等いかがでしょうか。

委員	兵庫県でも今年度から第3期地域創生戦略を始動し、各市町と一緒に頑張って地方創生を推進しているところです。 私なりの考えとなりますが、人口が増えることはないという事実は全国的に見てもはっきりしています。そのような中、これからの創生戦略に最も重要なことは、人口減少、高齢化が進み担い手が減るなかで、どのように地域を維持していくかだと思います。 国の地方創生2.0の基本構想においても、新たに「関係人口」の視点が盛り込まれています。人口が減りゆく中でも、自分が大切に想うふるさとを応援し交流することで、地域を支えていくことができるのではないかという考え方です。 総務省が力を入れて進めているのが、資料19ページの「ふるさと住民登録制度」であり、その地域には住めないが、地域との関わりを増やすことで、地域の人や暮らしを支える方を住民として登録し、増やしていこうとする取組です。 第3期の戦略ではこの点も踏まえ、成果指標にも設定するなど検討が必要だと思います。第2期戦略の「大学生による地域創生アイデアコンペ事業」は、大学が無く20代の転出が増えるなかにおいて、まさしく関係人口の取り組みで有益な事業だと思います。 加えて、これからのホームページは情報発信のツールだけではないと思います。ただ単に行政が伝えたい情報だけを知りたい人に伝えるツールではなく、相互交流ができ、市と関わりたい人が求めている情報を紹介し、人と人との接点も持つことができるツールとしての役割も求められていると思います。 宍粟市、佐用町のような人口がさらに減少している地域では、祭りの時だけ手伝いにきてくれる人をどうにか確保できないかなど、コミュニティをどう維持していくか常に考えています。人と人との接点を増やし、深めることで関係人口が生まれてくると思います。 第3期の戦略策定では、地域には住めないが関わってくれる人たち（関係人口）をどのように増やしていくか検討していただきたいと思います。
委員長	ご意見ありがとうございます。事務局から何かございますか。
事務局	「大学生による地域創生アイデアコンペ事業」につきましては、7年間で約300名の学生がフィールドワークを通して本市に訪れ、調査研究をいただいております。引き続き、地域の方との連携を深めながら、事業をブラッシュアップし、より良い事業となるよう努めてまいります。
委員長	全体をとおして、御意見、御感想ございましたら御自由にお問い合わせいたします。いかがでしょうか。
委員	第3期の戦略策定で盛り込んでいただきたい内容がございまして、団塊の世代の高齢者が増えていく中で、耕作放棄地をどうするか、今後の田んぼのあり方、活用方法をどうしていくのかも重要な観点ですので、担当課も含めご検討いただきたいと思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。第3期まち未来創生戦略の策定と合わせて、第3次たつの市総合計画の策定も進めているところであり、現在、市民・事業者へのアンケートを実施しているところです。ご意見のような放棄田対策や

	空き家問題についても意見が出てくることと思いますので、何らかの施策を検討してまいりたいと考えております。
委員	人口問題と大きく関わっているのが雇用だと思います。産業用地の確保につきましては、工業用地が無いといった課題を解決できておりませんので、実現に向け取り組みを進めていただきたいと思います。 また、まちの活力の中心になるのは商業だと思いますので、このまち唯一の商業地域である本竜野駅周辺にどのような賑わいをつくるか、しっかりとした構想を示した上で整備を進めていただきたいと思います。
委員	小京都たつの市は城下町の景観も非常にすばらしく、歴史や魅力を維持し続けていると思います。 先日、未来図ファーム（株）に取材させていただく機会がございましたが、3年程前に脱サラされた方が地域の耕作放棄地を活用し、お米の生産にチャレンジされておられましたので、市とも協力し取り組みを進めていただきたいと思います。 メディアの視点から言いますと、情報発信の手法は広報誌やホームページ、SNS等様々なツールが増え、市職員の作業量も相当増えていると感じています。せっかく観光協会等の団体があるならば、観光分野の魅力発信は観光協会が担うなど、役割を決めた方が効果的だと思います。
委員長	具体的なお意見ありがとうございます。 温暖化の影響等により自然環境も変わってきており、住みやすい環境も今後は求められていると思います。 それでは本日の協議事項につきましては以上でございます。 議事進行に御協力頂きまして本当にありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。
事務局	本日はお忙しい中御出席頂きまして、御意見、御提言ありがとうございます。これをもちまして閉会とさせていただきます。